

愛知県

シニア災害ボランティア シンポジウム開催報告

平成28年1月16日（土）、愛知県半田市の「半田市福祉文化会館（雁宿ホール）」において、愛知県、半田市、半田市教育委員会、半田災害支援ボランティアコーディネーターの会、半田商工会議所災害・環境対策委員会と当協会主催による「シニア災害ボランティアシンポジウム」が開催されました。

冒頭に、主催者を代表して半田市榊原純夫市長と愛知県加藤慎也防災局長による挨拶があり、続いて名古屋大学福和伸夫減災連携研究センター長と認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード栗田暢之代表理事の講演が行われました。

講演

13:40～14:40

巨大地震を前に 総力と本気の地震対策

名古屋大学減災連携研究センター

センター長・教授 福和伸夫氏

福和講師から過去の災害から学び、迫り来る巨大地震に備え、建築物などの耐震化



福和 伸夫 氏

名古屋大学減災連携研究センター長・教授
専門分野は建築耐震工学、地震工学、地域防災。
中央防災会議防災関連調査研究の戦略的推進WG、地震調査研究推進本部専門委員、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議、文部科学省防災科学技術委員会等、国をはじめ多数の委員を歴任。日本免震構造協会普及賞（2015年）、防災功労者・防災担当大臣表彰（2014年）などを受賞。

や家具の固定等の防災・減災に対する備えの重要性に加え、地域力を高め地域連携による防災・減災力を向上させることの必要性等について講演いただきました。



講演

14:50～15:50

災害ボランティアと避難所運営 について

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田暢之氏



講演をいただきました。

二つの講演から防災・減災への取り組みや災害ボランティアのあり方などを考えるうえで大変参考となるシンポジウムとなりました。

栗田講師から過去の災害時における避難所運営の問題点とその解決策について、自ら実際に経験した豊富な体験に基づいて

